

～小児の弱視を予防するために～
3歳児健康診査における屈折検査の実施について

1 実施に至る背景

子どもの目の機能は3歳までに急速に発達し、6歳位でほぼ完成する。目の発達する時期には限りがあり、この期間に遠視や乱視・斜視などにより視力の発達が妨げられると、弱視（メガネやコンタクトをしても視力が上がらないこと）となり、将来に大きな影響を及ぼす。弱視の子どもの割合は1～2%と言われており、異常の発見が就学頃になると治療は難しくなるため、適切な時期に発見し、治療を開始する必要がある。

本市では、3歳児健康診査の目の検査は、「家庭での視力検査」と「目のアンケート」を実施している。3歳児健康診査で「異常がない」と判定されたお子さんが、就学前に弱視と診断されたという報告があり、現行の目の検査では、子どもの状態に左右されやすく、保護者が子どもの目の異常に気付きにくいなど課題が見られた。また、市医師会からも、弱視の早期発見のために3歳児健康診査に屈折検査機器を導入するよう要望があり、検査精度を向上させるため4月から屈折検査を実施することとした。

2 目的

3歳児健康診査の目の検査において、精密検査が必要なお子さんを効率よく、見落としがないようスクリーニングすることで、目の異常を早期発見・早期治療し、小児の弱視を予防する。

3 屈折検査実施の概要

- ① 現行の「家庭での視力検査」と「目のアンケート」と併用して実施し、精密検査が必要なお子さんを判定。
- ② 屈折測定機器は携帯型レフラクトメーターを使用。
- ③ 近視、遠視、乱視、不同視、斜視等をスクリーニング。
- ④ 被検者は機器から約1メートル離れて座り、機器画面の光を見ている間に検査を実施。検査時間は約30秒～1分と短く、恐怖感が少ないため、小さなお子さんでも安心して検査が可能。
- ⑤ 平成31年度当初予算計上額 626千円（屈折検査機器リース代 等）

4 効果

屈折検査の実施により、3歳で目の異常を発見し治療が開始されれば、視力の発進が進みやすくなり、子どもの健康と安心安全な生活をおくる一助となることが期待できる。

視力検査のご案内

🌀視力の発達について

お子さんの目は、3歳までに急激に発達し、6歳頃に0.8以上の視力を持つようになります。6歳頃までに正しく脳の視覚領域が発達しなければ、弱視（眼鏡やコンタクトをしても視力が出ないこと）になってしまいます。目の異常を早期に発見し、適切な治療を開始できれば視力の回復が見込めます。そのため早期発見・治療がとても大切です。

しかし、乳幼児期は見えにくさを自覚していないことが多く、家族も気がつきません。

🌀3歳児健診での視力検査方法

○絵指標を用いた検査（ご家庭で実施してください）

同封の絵指標（練習用・2.5m用）を用いて実施し、結果を問診票にご記入ください。

検査方法については、右ページをご覧ください。

○屈折検査（健診当日に会場で実施します）

屈折測定機器を使用し、眼のピントが合うために必要な度数（屈折）を調べます。検査時間は約30秒～1分程で終了します。椅子に座り、機器と対面する方法で行います。

家庭での絵指標を用いた視力検査だけでは、眼の異常を見逃してしまう恐れがありますが、機器を使用することで弱視や斜視の発見率が高まります。

※機器での測定は誤差が生じることがあり、この検査で異常を指摘されても、精密検査では正常となることもあります。

🌀この検査で異常を指摘されたら？

近医の眼科を受診して、精密検査を受けましょう。

精密検査では、視力・屈折・眼位・角膜・水晶体・眼底などに異常がないか調べます。

お子さんの目の病気は、本人が不自由に感じていないことが多く、治療が手遅れになってしまうことがあります。

屈折検査で異常を指摘されたら、必ず眼科を受診しましょう！



栃木市マスコットキャラクター とち介

栃木市 健康増進課 ☎25-3512



ご家庭での視力検査方法

【準備するもの】

- ・ティッシュペーパー、セロハンテープ等、はさみ、絵視標 2 種類、
お子さんの目と耳のアンケート(3歳児健康診査票裏面)、距離を測るためのものさし
- ・絵視標を点線にそって1枚ずつ切り離します。大きいものは練習用で、検査には小さい
絵のもの(2.5m用視力表)を使います。

【検査の環境】

- ・明るい部屋で検査します。
- ・絵視標の高さは子どもの目の高さに合わせ、片目ずつ検査をします。

【練習をしましょう】

- ・近くで練習用の絵視標を見せて1枚ずつ絵の名前を教えてください。
- ・呼び方は「鳥」でも「チュンチュン」でも呼びやすい言い方でけっこうです。

【検査をしましょう】

- ・お子さんを座らせて右目から検査します。はじめにティッシュペーパーを4つに折って、
左目が全部かくれるようにセロハンテープで貼ります。のぞかれないように注意して下
さい。
- ・検査をする人は子どもから 2.5m離れて、検査用の絵視標を1枚ずつ見せて何の絵か聞
いてください。正しく見えたものに○、見えなかったものに×を、3歳児健康診査票裏
面の「お子さんの目と耳のアンケート」に記入してください。
- ・次に、ティッシュペーパーを右眼に貼りかえて、同じように左眼の検査をします。

—検査がうまくできない時—

- * 一度検査してうまくできなくても、何回かくりかえすとだんだん慣れて上手にできるようにな
りますので、日を変えて検査してください。
- * 絵の名前がうまく言えない時には、練習用の絵視標をお子さんに持たせてどの絵と同じか指さ
すようにしてもけっこうです。
- * 日本弱視斜視学会ホームページに、検査方法の説明がありますので、参考にしてください。

ホームページ <https://www.jasa-web.jp/general/3sai-guide>

